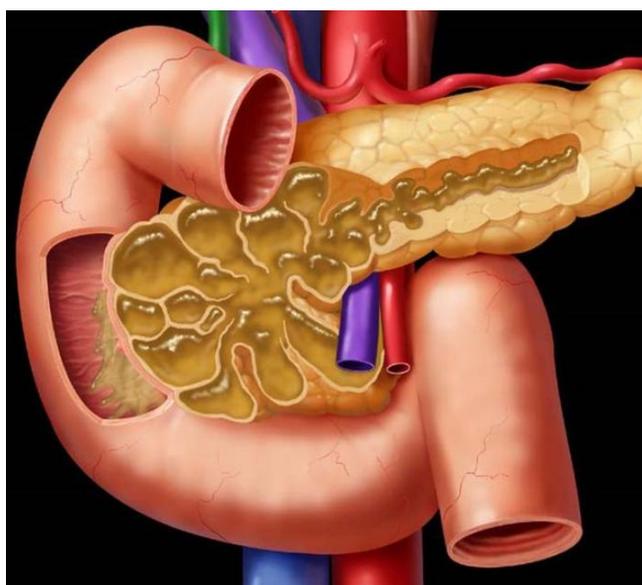
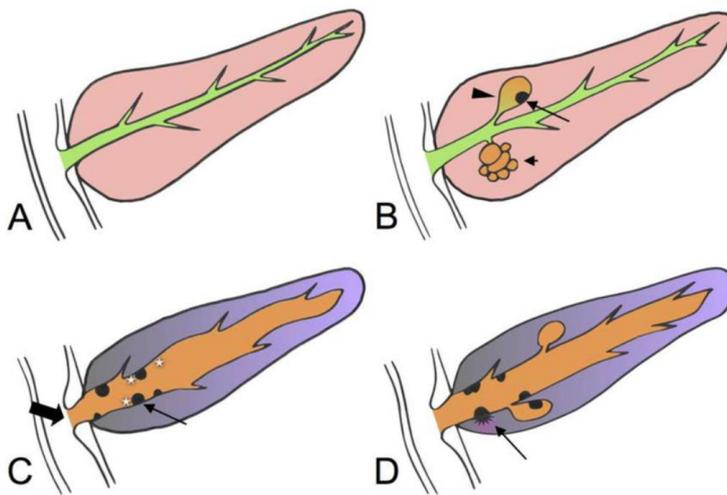


# 膵管内乳頭粘液性腫瘍の併発が膵癌再発の独立予測因子

膵部分切除を施行した膵管腺癌（PDAC）患者379例のデータを基に、残存膵臓での膵管腺癌（PDAC-RP）発症予測因子を後ろ向きレビューで検討した結果が「Annals of Surgery」誌に報告されました。



その結果、PDAC-RP 発症には膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) 併発 ( $P=0.0005$ )、癌の位置 (膵体部/尾部) ( $P=0.0060$ )、病期分類の UICC での T 因子の低値 ( $P=0.0039$ ) が相関し、IPMN 併発は独立した PDAC-RP 発症予測因子でありました ( $P=0.0135$ )。



IPMN 併発例では非併発例に比べ 10 年累積 PDAC-RP 発症率 ( $47.5\%$  vs.  $9.96\%$ 、 $P=0.0071$ ) および背景膵の膵上皮内腫瘍性病変の密度 ( $1.86\text{cm}^2$  vs.  $0.91\text{cm}^2$ 、 $P=0.00007$ ) が高い結果となりました。